

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)開成駅前マンション計画	階数	地上6F
建設地	足柄上郡開成町吉田島4323-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	237 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年11月12日
敷地面積	2,408 m ²	作成者	大和小田急建設㈱
建築面積	1,082 m ²	確認日	2013年11月12日
延床面積	5,200 m ²	確認者	大和小田急建設㈱



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>周囲を道路に囲まれた立地において、開成駅から酒匂川へ至る東西の都市軸、そして、パレットガーデンから戸建住宅群へ抜ける南北の都市軸、東西及び南北、2つの都市軸を平面計画の根幹として構成することで、居住者のセキュリティやプライバシーを確保しながらも閉鎖的でなく、まちに寄添いながら新たな風景のネットワークを形成し「開成庭園の杜」全体の価値を向上させる集合住宅としている。</p>	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>採光・通風に配慮した計画、基準法対象外の建材を使用し、空気質を健全に保つ事で心地良い空間を形成する。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>まちなみに対して圧迫感を与えぬよう、色彩や配置に配慮している。中高木を多数植栽し、良好な景観の作成と共に地表面に対し日陰を形成する事で、暑熱環境緩和を図る。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>省エネルギー性に配慮した設備機器の導入。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>省エネルギー性に配慮した設備機器の導入により、運用時のLCCO₂排出量を低減を図っている。敷地外に対する光害を抑制すべく、照明の検討を行っている。</p>
<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>事前検討を踏まえた内装計画を行い、居住者に魅力的な空間を提供する。清掃が容易に可能な設計仕様とする等、良好な衛生状態を維持できる計画とする。劣化対策等級3仕様とし、建物の長寿命化を図る。</p>	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>水栓、器具を節水仕様とし水資源の保護を図る。仕上げと設備の分別が容易な計画とする(リサイクルの促進)断熱材はノンフロンとし、地球温暖化抑制について配慮している。</p>	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される